

様式第1号

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回所沢市高齢者福祉計画推進会議
開催日時	令和5年5月18日（木）午後3時30分から午後4時50分
開催場所	所沢市役所本庁舎8階大会議室
出席者の氏名	今城委員・下山委員・高橋委員・岡田委員・中澤委員 米川委員・千須和委員・山田委員・吉本委員・渡邊委員 神藤委員・柴井委員・根本委員・山下委員・佐藤委員 浅倉委員・瓦谷委員・矢島委員
欠席者の氏名	大島委員・小貫委員
議 題	(1) 地域包括支援センターの運営状況について (2) 第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について (3) 第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の令和4年度進捗評価報告について (4) 地域密着型サービス事業者の指定等について (5) 報告事項等
会議資料	(1) 会議次第 (2) 資料1 地域包括支援センターの運営状況について (3) 資料2 第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について (4) 資料3 第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の令和4年度進捗評価報告について (5) 資料4 地域密着型サービス事業者の指定等について (6) 委員名簿 (7) 座席表
担当部課名	福祉部 前田部長・内野次長 高齢者支援課（溝井課長・中林副主幹・日下部主査・森田主査・小原主査・高安主任） 介護保険課（中澤課長・青森副主幹・森主査・今泉主査） 保健医療課（河西課長） 国民健康保険課（遠藤主幹） 健康づくり支援課（松本主幹） 事務局 福祉部高齢者支援課

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>開会</p> <p>高野委員（連合埼玉西部第 4 地域協議会）に代わり、新たに矢島委員（同上）を新委員として委嘱した旨を事務局より報告し、前田部長から矢島委員へ委嘱状を交付した。</p> <p>また、島田委員（所沢市民間高齢者福祉連絡協議会）に代わり、新たに岡田委員（同上）を新委員として委嘱した旨を事務局より報告し、前田部長から岡田委員へ委嘱状を交付した。</p> <p>令和 5 年度の事務局の幹部職員（課長級以上）の紹介を行った。</p> <p>議事録の作成方法について、要約方式、委員名無記名とし、委員長の確認により確定することについて委員の了承が得られた。</p> <p>委員により会議の公開が了承され、傍聴人が入場する（1 名）。</p>
	<p><b>議題（1） 地域包括支援センターの運営状況について</b></p>
事務局	<p>資料 1 に基づき、令和 4 年度における地域包括支援センターへの総合相談件数や、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施状況、各地域包括支援センターの職員数等に関して説明を行う。</p>
委員長	<p>質疑等はあるか。</p>
委員	<p>地域包括支援センターにおいて「ケアマネジャーが不足している」という声があるため、ケアマネジャーの不足に係る状況を確認したい。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>地域包括支援センターのケアマネジャーの状況については、ケアプラン作成の居宅介護支援事業所への委託割合が年々低下しており、地域包括支援センターが自前でケアプランを作成する件数が増加している。そのため、地域包括支援センターについては、ケアマネジャーが求められている状況である。</p>
	<p><b>議題（２）第９期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について</b></p> <p>冒頭、第９期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に係る諮問の手続を行った。</p>
事務局	<p>資料２に基づき、策定スケジュールや所沢市高齢者福祉・介護実態調査の結果、国の基本方針（案）について説明を行う。</p>
委員長	<p>質疑等はあるか。</p>
委員	<p>終末期に「介護保険で利用できる施設」での生活を希望する方の増加や、地域包括支援センターに対する期待が伺えるが、介護事業者としては、慢性的な人材不足の課題を抱えている。募集してもなかなか応募がなく、各法人で苦勞している。紹介事業者からの紹介については、常勤者を一人雇用するのに、100万円程度の経費がかかることに加えて、すぐ辞めてしまうことも多い。</p> <p>また、先ほども話があったが、ケアマネジャーが不足している。このため、地域包括支援センターがケアプランの作成を事業者に委託することが難しい状況にある。業務の増加・複雑化によって、仕事を抱えきれず定年前に辞めてしまうケアマネジャーもいる。介護福祉士に処遇改善費という手当が出るようになったことで、介護福祉士よりもケアマネジャーのほうが給料が安い状況になり、以前は、介護職からキャリアアップしてケアマネジャーになっていたが、給与の違いがあるため辞めてしまう人もいる。</p> <p>以上の実態があることを知っていただきたい。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>国においてもケアマネジャー不足等に係る状況は認識をしており、国の基本指針において、見直しの方針案として「ケアマネジネットの質の向上、人材確保について追記」と示されている。そのため、国の方針を踏まえて対応したい。</p> <p>ケアマネジャーは市で270人程度であるが、本市の状況を年度別にみると、近年は微増しているが、要支援・要介護認定者の増加によって、需要と供給のバランスが取れていない。</p> <p>そこで、市の仕組みとしてケアマネジャーが働きやすい環境づくりの面では、市が貢献できることとして、現在検討中のものは、2つある。1つは、ケアマネジャーに向けた研修を市で主催することで、ケアマネジャーの手助けをしていくこと。もう1つは、ケアプラン点検という形で、より良いプランの作成に向けて、市からも助言などを行うことである。</p> <p>これらの取組の中で、初級、中級とそれぞれの熟練度に合わせた研修を行ない、業務の効率化につなげることを検討している。</p>
委員	<p>ACP やトコロんおかえり QR について、周知や普及を行うに当たって効果的な方法や媒体はあるか。若年層であればネット等が効果的な媒体になるかと思うが。</p>
事務局	<p>ACP については、口コミの影響も大きいと感じている。出前講座の参加者から「自分が所属している別の団体でも実施してほしい」という意見をいただくこともある。このようなことに限らず、講座だけでなく、近所の方や家族・友人にお話いただくことで、より周知が進むと感じている。もちろん、大規模な講演会を行うことも大事だが、小規模な講座等を通じて広がりをつくることも大事だと考えている。ACP の周知を誰に向けて行うかについては、高齢者はもちろんだが、ACP を一緒に行う可能性が高いその周りの介護をしている家族なども重要になってくると考えている。</p>
委員	<p>ケアマネジャーがどの程度大変なのか、あるケアマネジャーの活動を確認させてもらったことがある。非常に大変な仕事をしていると感じた。多忙であることから、十分な対応ができない面も</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>あると想定され、もう少しじっくりと対応できるような環境になるとよいと思った。その中で、ケアマネジャーをサポートする人も必要だと感じ、地域でそうした支援ができるように、市にも検討してもらいたい。</p> <p>介護保険だけでは、まだ十分には対応できない。そのため、ところんおかえり QR や見守り相談員など、引き続き、地域包括ケアシステムを推進していく</p>
	<p><b><u>(3) 第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の令和4年度進捗評価報告について</u></b></p>
事務局	<p>資料3に基づき、評価方法や令和4年度の取組・評価について説明を行う。</p>
委員長	<p>質疑等はあるか。</p>
委員	<p>指標以外の事柄・取組についても勘案して評価とあるが、具体的にどのようなものがあるか。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルスの影響を踏まえて、当初の予定から実施方法を変更することで対応した取組や実施内容を工夫した取組がある。</p>
	<p><b><u>(4) 地域密着型サービス事業者の指定等について</u></b></p>
事務局	<p>資料4に基づき、地域密着型サービス事業者の指定について、申請内容の概要について説明を行った。</p>
委員長	<p>質疑等はあるか。</p>
委員	<p>「デイサービス健やか（仮称）」は現在も運営している施設だと思うが違うのか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	御指摘のとおり、当該法人は、既に市内において居宅介護支援事業の運営を行っている。今回の指定は、現在運営中の地域密着型通所介護から認知症対応型通所介護への転換となる。
委員	当該施設付近の道路は、県道としては草が多く散歩の際に歩きにくさを感じている。そのため、高齢者でも歩きやすい道路になるよう整備してほしい。
事務局	まちづくりの観点についての意見に感謝する。  <b>(5) 報告事項等</b>
委員長	報告事項等はあるか。 (報告事項等なし)  本日の議事については、すべて了承された。  閉会